

## 第六次竜王町総合計画基本構想（案）に関するパブリックコメントの結果

---

### 1 閲覧および意見募集期間

令和3年1月29日（金） ～ 令和3年2月8日（月） 11日間

※ただし、各施設での閲覧等については、執務時間内に限る。

### 2 閲覧場所

竜王町住民課

竜王町未来創造課

竜王町公民館

竜王町立図書館

※竜王町ホームページでも閲覧可能

### 3 意見提出件数

12件（1名）

### 4 意見・提案および町の考え方

意見・提案	理由	意見・提案に対する町の考え方
「SDGs」の用語解説を入れる	用語にかかる周知が十分でないため	脚注として用語解説を追加しました。なお、計画冊子においては、その他の用語についても必要に応じて解説を追加します。
「Society5.0」、「5G」の用語解説を入れる	用語にかかる周知が十分でないため	
希望を持つ人＝「若者」を「若者を含む全ての人」とすべきでは。「若者（も）」という表現は、竜王町に関わる全ての人という発想になりにくいのでは。	「希望を持つ人」は若者だけではない。全ての世代が夢や希望を抱きながら暮らせるまちづくりが大切ではないでしょうか。	ご意見の通り、本計画に基づくまちづくりの対象は全ての世代です。町の持続可能性を確保するため、この10年間は特に若い世代にとっての魅力を高め、発信することに力を入れたいと考えており、「若者も」という言葉を将来像に用いています。ご提案いただいた案を含めて、再度検討し決定することとします。
スローガンを「若い世代も選ぶまち 希望かなえる チャレンジ竜王」にしてはいかがでしょうか。サブタイトルも含めて考えました。	夢や希望を叶えるためにチャレンジし続ける竜王なら、若い世代が竜王を選んで住んでくれると思います。	
将来像を描くためには、文章で丁寧に表現する方がイメージしやすい。どのようなまちづくりをめざしているのか分かりにくいように思います。	単語の解説を並べてもイメージがしにくいいため。	ご意見の通り、将来像に込めた想いを文章で表現するよう変更します。
総人口の将来見通しが、適正に修正されて良かったと思います。20年後、1万人を維持したいものです。	以前の人口ビジョンの目標値に無理があったため、時点修正が出来ている。	竜王町が活力を維持し続けるために必要な人口規模として2040年以降も1万人以上を維持していくことをめざします。

意見・提案	理由	対応
<p>竜王から進学、就職で転出していくことに歯止めをかけることは難しいと思いますが、U・Iターンや移住促進に施策を講じ転入者を増やすことが大事であると思います。</p>	<p>仕事の創出や暮らしの環境づくり(住みやすさ)はもちろんのこと</p>	<p>ご意見の通り、町外からの移住・定住を促進することが必要であり、Uターンに加え、Iターンについても記載を追加します。</p>
<p>これからは、魅力ある戸建てを民間と協同して開発したり空家の利活用に力を入れるべきと考えます。</p>	<p>都市部の子育て世帯にこそ、安くて住み心地が良い戸建て住宅を進めると、人口増加につながるため。</p>	<p>ご意見について、30ページの「民間活力を誘導することにより、戸建て住宅や集合住宅など、時代に即した魅力的で多様な住宅の提供を図ります。」に含まれます。</p>
<p>子育て支援と教育の充実をセットで都市部へアピールすることで魅力発信に力をいれるべきと考えます。</p>	<p>若い世帯の転入を促す戦略が必要なため。</p>	<p>ご意見の通り、若い世代への訴求力のある取組が必要であり、魅力発信の文章に子育て・教育に関する記載を追加します。</p>
<p>「やさしさ」を「安心」に替えてはいかがでしょうか。</p>	<p>様々な危機管理が求められる時代のため、「安心・安全」がまず必要となります。「やさしさ」は「つながり」に含まれているように思います。</p>	<p>本計画においては、子育て・教育、健康・福祉、人権・共生、安心・安全、環境などの分野を人にも地球にも「やさしい」施策として位置付けています。</p>

意見・提案	理由	対応
<p>地域支え合いしくみづくりモデル事業の取組実績を活かすなど、住民の主体性を活かした新しい地域コミュニティづくりを期待する。</p>	<p>本項目の内容が少ないので、もう少し書き込む必要があるため。</p>	<p>ご意見の通り、「町民の主体性を活かす」という記載について追加することします。</p>
<p>第4章として「推進体制」が必要ではないでしょうか。</p>	<p>これらの施策をどのような体制で推進するのか、庁内のプロジェクトチーム、関係機関や民間との連携等を整理する必要があるため。</p>	<p>推進体制については基本計画において定めることとし、毎年の進捗確認や適宜改善を図る仕組みで計画を運用してまいります。</p>